

危機管理マニュアル

1. はじめに

本校は小規模特認校であるため、市内の小学校とは異なる案件が存在します。

- 1)一人一人の自宅まで教職員が引率する体制は整えられません。
(盤溪地域の子どもたちは、自宅付近まで引率する場合があります。)
- 2)一部の児童に関わる安全対策(居住地域での不審者出没等)が必要な場合があります。
- 3)盤溪地域特有の危機管理(野生動物対策等)が必要な場合があります。

このような実情を踏まえ、不測の事態が発生した際に適切な対応により子どもの安全を守るため、盤溪小学校危機管理マニュアルを作成しております。各家庭におかれましては、本資料をご覧になり、理解を深めていただけますと幸いです。

2. 緊急時・災害時の対応について

◎下校体制を下記の4段階に分け、関係機関と連携の上、緊急時の下校・連絡体制を決定します。

緊急度1 ……危険性が小さい悪天候等のため、安全意識を高めた上で通常通り下校をする。

緊急度2 ……危険性がやや増した悪天候等のため、保護者に注意を呼びかけ通常の時間帯に下校をする。

緊急度3 ……不審者や悪天候による危険性が高まった場合、下校時刻を繰り上げてバス下校、または保護者引き取りにより下校をする。

◆「すぐーる」にて、下校時刻を変更して全校一斉に下校することをお知らせします。

◆全校一斉のバス時刻を利用し、方面別に下校します。

◆家に入れない児童、保護者が迎えにくる児童については、学校に待機させます。

緊急度4 ……児童単独での下校では危険な状況が予測される場合、児童を学校に待機させ、保護者に引き取ってもらい下校をする。土砂災害の危険がある場合は、ばんけいスキー場ロッジ2階へ避難する。

◆「すぐーる」にて児童を引き取りに来ていただくようお知らせします。

◆保護者が引き取りに来るまで、継続して学校で待機させます。

緊急度1～4の詳しい内容や対応方法については、2ページをご覧ください。



◎ 児童が在校中に災害等が発生した際の対応

- ・児童が校内にいる時間帯に、大地震・暴風雨(雪)などの災害が発生した場合、まず、児童の安全確保のための指示を行い、必要に応じてなかよし広場やスキー場ロッジに緊急避難します。
- ・事態が落ち着くまで、全児童を校内、あるいは緊急避難した場所に待機させます。待機中、保護者が引き取りに来られた場合は、確認の上、引き渡します。
- ・事態が落ち着いた後、**緊急度4**(保護者来校による直接引き渡し)の形で対応します。また、災害の程度によっては**緊急度3**(全校一斉下校)の形で対応し、帰宅させる場合もあります。
- ・大規模な停電など、「すぐーる」や電話連絡などの通信手段が使用できなくなる場合も考えられます。その際には、学校からの連絡がなくとも、児童を引き取りに来てください。

◎災害等における緊急度別下校体制

	緊急度1	緊急度2	緊急度3	緊急度4
状況	・危険性が小さい悪天候、不審者情報など	・危険性がやや増した悪天候、不審者情報、クマ出没情報など	・強い風雨や風雪、危険性が大きい不審者情報、クマ出没情報など	・暴風雨や暴風雪、近隣で凶悪犯の逃走やクマの被害、大地震の発生など
下校体制	通常下校	通常下校	全校繰り上げ下校	保護者引き取り下校
学校の対応	★安全指導を行い下校させる 	★保護者に「すぐーる」で注意を促した上で、通常の下校時間帯にバスで下校させる ○校区内児童…必要に応じて教員が自宅まで引率または保護者の迎え ○バス通学児童 下校は、通常の日課通り2時バス・3時バスに分かれます。	★下校時刻を繰り上げてバス下校または保護者に引き取ってもらう (家に入れない児童・保護者が迎えに来る児童については学校に待機させる) ○校区内児童…自宅まで引率 ○バス通学児童 下校は、全校一斉に下校できる時間帯のバスを利用します。 ★バス対応…必要に応じて職員が終点まで引率する。 ※必要に応じて周辺の巡回実施	★保護者の引き取りまで児童が待機する体制を取る ※「緊急度4」は児童単独での下校では危険な状態が予測される場合です。全児童が学校で待機、または、ばんけいスキー場ロッジ2階へ避難し、保護者による直接迎えの体制になります。 ※保護者のお迎えがあるまで、継続して学校で待機させます。
学校から保護者への連絡	・「すぐーる」配信	・「すぐーる」配信 ※個別対応～居住校区小学校が集団下校をした等の情報が寄せられた場合、状況に応じて該当保護者へ電話連絡を行う。(最寄りのバス停までの迎えなど)	・「すぐーる」配信(未読の保護者へ電話連絡) ※状況に応じて保護者へ最寄りのバス停までの迎えなどをお願いする。 ・ホームページに情報掲載	・「すぐーる」配信(未読の保護者へ電話連絡) ・ホームページに情報掲載 学校と連絡が取れない場合、校舎内にとどまっているか、スキー場ロッジに避難しています。
下校指導と対応	学級指導により注意喚起した後、通常下校をする。	まとまって下校することなどを学級指導し、通常下校をする。	保護者の迎えとバス下校の児童を把握し、安全に十分注意してまとまって下校することなどを学級指導した後、バス下校引き取り下校をする。	保護者が迎えに来るまで学校で待機、または、ばんけいスキー場ロッジ2階で待機した後、迎えに来た保護者に確実に引き渡す。

◎ 児童の登下校中に災害(大地震など)が発生、Jアラートが発出した場合の対応

- ◆自宅近くであれば自宅に、学校近くであれば学校に、その他の場合は近くの建物(家・店舗等)に避難しましょう。
- ◆バス乗車中は運転手の指示に従います。バスが運行不能になった際は、学校とバス会社で連絡を取り合い、児童の安全確保を図ります。学校では災害状況を確認後、状況に応じて「緊急度3」の繰り上げ下校や「緊急度4」の保護者引き取り下校の体制をとります。

※詳細はP7「8.Jアラート発信時の行動について」を参照

登下校途中で災害等にあった場合は、災害用伝言ダイヤル<局番なしの171>等の連絡方法があります。災害時の約束について、お子さんと確認しておきましょう。

3. 校外活動における危機未然対策について

◎校外における活動を実施する際は、事前に以下のような検討・対策を行い実施します。

- ・学校は事前に現地の状況や気象情報などを把握して実施する。
- ・悪天候などで活動を変更又は中止する場合を想定し代案を決めるとともに、活動中は気象情報に配慮する。
- ・緊急時の連絡体制(医療機関、学校、保護者)を整備し、確実に機能するか事前に確認する。
- ・オリエンテーション等で児童が教職員から離れて活動する時は、教職員の場所を児童に伝え、報告できる体制を整える。
- ・障がいのある児童が在籍する場合は、伝達方法の整備や避難経路・避難体制の整備など、特性の内容に応じた内容となるよう留意する。
- ・訪問先・宿泊先・旅行代理店等関係者との安全確保に関する事前調整を行う。

4. 児童が学校で大きなけがをした時の対応について

◎児童の応急手当を行いつつ、次の対応をとります。

①保護者へ電話連絡

- ◆事故等の概況、けがの程度などをお伝えし、病院受診について相談します。希望するかかりつけの病院等があれば、お知らせください。
- ◆けがの程度が重い場合、救急車を呼ぶ場合もあります。その際も、搬送する病院を保護者の方と相談して決めることになります。

②児童を病院に搬送

- ◆けがの程度によって、保護者が学校へ到着してから病院に搬送する場合と、教職員が病院に搬送し病院で保護者の方と合流する場合があります。
- ◆救急車で搬送する場合、保護者の方には搬送先の病院に直行していただきます。

5. 『子ども110番の家』『スクールガード』について

警察・防犯協会では、登下校時などに、子どもが不審者から声をかけられたり、追いかけられたりした場合、助けを求めて駆け込むための『子ども110番の家』を指定しています。子どもが駆け込んできた時に、その子どもを保護し、直ちに警察に110番するのが役割です。居住地域や通学路沿いを確認しておきましょう。

また、札幌市に登録している『スクールガードリーダー』『スクールガード』の方も子どもたちの安全を守ってくれています。



6. 不審者対策や不審な電話への対応について

【1】不審者に遭遇した場合

《注意すること》

- ①登下校や遊びに行く時などは、なるべく複数で行動し、一人だけにならないようにする。
- ②暗くなる前に家に帰る。習い事等で遅くなる場合は、複数で行動する。または、保護者が迎えに出向く。

◆本校も通常の市内の学校と同じように、習い事などは一度自宅に帰ってからが原則です。しかし、交通機関や時間等の都合でやむを得ず学校帰りに直接行かねばならない場合には、保護者の責任においてお子さんと約束を確認し、安全配慮をした上で行かせるようにしてください。
(下校方法が変更になる場合は担任へ連絡ください)
※校内における、習い事の用具などの管理も、自己責任といたします。

- ③不審者に声をかけられたり、何かされそうになったりしたら、大声を出し、防犯ブザー等を使用するなどして近くの人に助けを求めるか、子ども110番の家等に避難して、110番通報してもらう。
- ④自宅に児童だけがいる時に、不審な人物が訪問してきた時は、絶対に応対したり鍵を開けたりしない。
 - ・マンションでは、暗証番号の入力時やエレベーターに乗る時に後ろを振り返る癖をつける。
 - ・家に誰もいなくても「ただいま！」と言ってから家に入る。
- ⑤不審者を目撃した時は、110番通報し、学校へも知らせる。

【2】子どもだけの時に、不審な電話がかかってきた場合

保護者の留守を確かめたうえで、児童から学級児童の連絡先(電話番号等)を聞き出す悪質な電話の事例があります。学校では、個人のプライバシーにかかわる情報について各家庭と確認し、対応しております。各ご家庭におかれましても、下記の点について十分ご注意くださいようお願いいたします。

警察・テレビ局・アンケート・学校の保護者等を名乗り、住所や電話番号を聞き出そうとする。など

《対処法》

- ◇ 子どもだけで対応しないようにご指導ください。
 - ※「家の人がいないので、後でかけ直してください。」と答えるなど
- ◇ 不審電話と思われる場合は、学校に問い合わせるように伝え、電話を切るようにご指導ください。
- ◇ 「お母さんがけがをしたので〇〇へ行くように」などの「呼び出し」があった場合は、絶対に応じないようご指導ください。
- ◇ 不審電話があった時は、110番または、西警察署(666-0110)へ通報してください。また、学校(642-3223)にもご連絡ください。



7. 登下校時の緊急事態の対応について

バス利用で大きな遅延や交通事故等の場合

- ① 登下校での交通機関の遅延や事故に関して、運航状況や事故等の状況についてバス会社より連絡があった際は、「すぐー」を活用して連絡いたします。

※遅延の理由により、現場での状況把握が必要な場合は、職員が現地に赴き状況を判断します。

- ② けが等の情報は、現場の警察・消防と連携し、直接該当児童の保護者へ連絡をします。

- ③ 救急搬送されていない児童で登校可能な児童は、乗り換えバスにより学校へ登校し、児童の健康状態を把握し、必要に応じてご家庭へ連絡いたします。

※特に冬季間は、バスの遅延により、バス停に長い時間待つ場合があります。

バスの接近情報が確認できる『さっぽろえきバスnavi』をご活用ください。

The image shows the Sapporo Ekibus navi website and app interface. The website header includes the logo 'さっぽろ えきバスnavi' and navigation links for '使い方' (Usage), '日本語' (Japanese), 'ENGLISH', '中文简体' (Simplified Chinese), and '中文' (Traditional Chinese). The main menu has options: 'トップ' (Top), '経路検索' (Route Search), '時刻表検索' (Timetable Search), '地図から検索' (Search from Map), '路線図から検索' (Search from Route Map), and 'バス接近情報' (Bus Arrival Information). A '重要なお知らせ' (Important Notice) box states that the Android push notification function is not working in some versions. The '経路検索' (Route Search) section shows a search form with '出発' (Departure) and '到着' (Arrival) fields, both with a '50音' (50-sound) input limit. It also includes radio buttons for '優先条件' (Priority Condition) with options: '運行頻度' (Frequency of Operation), '所要時間' (Travel Time), and '料金' (Fare). There are checkboxes for '指定出発地からのルートに絞る' (Filter by route from specified departure point) and '指定到着地へのルートに絞る' (Filter by route to specified arrival point). A '検索' (Search) button and a 'リセット' (Reset) button are at the bottom. The right sidebar contains 'アプリ案内' (App Guide) for iPhone and Android, and '札幌市コールセンター' (Sapporo City Call Center) information. The bottom section, '交通事業者サイト' (Transportation Operator Sites), lists various bus and train companies with their logos, including Sapporo City Transportation Bureau, Sapporo City Transportation Bureau, Hokkaido Central Bus, JTB, and others.

※『えきバス navi』HP <https://ekibus.city.sapporo.jp/>

8. ヒグマ出没時の対応について

盤溪小学校におけるヒグマ出没時の対応について

1 事前

- 危機管理体制の構築・教職員間で共有
- 関係機関との情報共有体制の構築
- 本来在籍校との連絡体制の確立
- 子どもへの安全指導
- 誘引物や電気柵等管理の環境整備
- 保護者への緊急対応時の協力依頼
- 緊急対応時に備えた端末持ち帰り

関係諸機関連絡先

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> □パートナー校等近隣校 宮の森中学校 612-1147 大倉山小学校 644-3984 三角山小学校 643-1133 ばんけい幼稚園 641-0551 □教育委員会 教育課程担当課 211-3891 学びの支援担当課 211-3851 | <ul style="list-style-type: none"> □関係機関 西区警察署地域課 666-0110 中央区役所企画課地域安全担当係 205-3205 □ばんけいバス 644-3731 □スクールガードリーダー □スクールガード |
|---|--|

2 第一報を受ける（くまメール受信や各区及び警察署等からの連絡）

情報源	収集すべき情報	関係諸機関との連携
□市(LINE,くまメール) □子ども・保護者・地域住民 □警察 区	□目撃日時 □目撃場所 □ヒグマの大きさ、頭数 □目撃（映像や画像等） □痕跡の有無（足跡・フン・食害痕・その他） □関係機関の対応状況（調査・パトロールの予定等）	□警察・区・環境局と情報を確認 □パートナー校等と情報を共有

3 緊急対応の必要性の検討（最新の情報を収集し、検討）

ヒグマとの接触リスクが高い事例	時間情報	目撃・痕跡情報	被害・対応情報
	□ヒグマ出没が登下校の時間に重なっている	□学校の校区内に出没した □通学路に出没した □新しい足跡、糞等の痕跡	□人に危害が加えられた □通学路で交通規制が行われている
パートナー校等と協議の上 判断 必要に応じて（日課等の変更等）教育委員会と相談			

4 緊急対応が不要の場合（基本対応）

- 対応の共有（教職員間・パートナー校等）
- 子どもへの安全指導と心のケア
- 保護者・地域への情報提供と注意喚起
 - ・最新情報の提供
 - ・学校の対応についての共有（日課の変更なし、執業に注意）
 - ・安全確保への協力の依頼

4 特別な対応が必要な場合（緊急対応） ※繰下げ登校・繰り上げ下校・引き取り・諸活動停止等

登校前・中

- 対応の共有（教職員間・パートナー校等）
- 保護者・地域への情報提供・注意喚起（最新情報・日課の変更に伴う付き添い等での登校依頼等）
- 通学路の安全確保（警察・スクールガードリーダー等への支援依頼）
- 安全確保（校舎1階の脱走、玄関開錠、送迎車入退場指示等）

在校時

- 安全確保（所在確認、屋外活動制限、遅刻早退への対応等）
- 職員間での情報共有と対応協議（諸活動中止等）
- 子どもへの指導
- 保護者・地域への情報提供・注意喚起（最新情報、下校時の対応等）

下校時

- 対応の共有（教職員間・パートナー校等）
- 保護者・地域への情報提供・注意喚起（最新情報・放課後の過ごし方・明日の対応等）
- 通学路の安全確保（警察・スクールガードリーダー等への支援依頼）
- 子どもへの指導（下校方法・放課後の過ごし方等）

教育委員会と相談

4 臨時休業（オンラインによる学習支援を検討）

- 【臨時休業】
- 対応の協議（校内・パートナー校）
- 職員間の情報共有
- 保護者・地域への情報提供・注意喚起
- 子どもの所在確認
- 登校した児童生徒への対応
- 関係機関等への連絡
- 【オンラインによる学習支援】
- 子どもの健康観察
- ICT等を活用した学習支援

継続対応

- 最新情報の収集
- 関係機関との連携
- 再開についての相談
- 通学路の安全確保
- 報道機関等への対応
- 教育委員会への相談・報告
- 子どもへの安全指導と心のケア

9. J アラート発信時の対応について

【弾道ミサイル発射に係るJアラート発信時の行動について（登校時間前）】

■（事前）発信があった場合の避難行動の指導・確認（学校、家庭）

➤特に登校中の場合については、家庭の状況に応じて確認しておく。

例）自宅近くなら自宅に。学校近くなら学校に。バス内ならバスに。近くの建物（家・店舗等）に。

在宅の場合

【自宅待機・避難行動】

- 各家庭でJアラートの情報に基づき判断。
- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動。
- 床に伏せて頭部を守る。

登園・登校中の場合

【避難行動】

- 登校済の場合、そのまま校舎内で避難。
- 事前の確認に基づき、近くの建物へ避難する等、身の安全を確保する行動をとる。
- ※迷ったら近くにいる大人に助けを求める。

Jアラート発信

ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、又は地下に避難して下さい。

日本の領土・領海に落下する
可能性があると判明した場合

直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難して下さい。

日本の領土・領海の上空を通過した場合

ミサイル通過。ミサイル通過。●時●分頃、●●県周辺から●●（海域名）へ通過したものとみられます。避難の呼びかけを解除します。不審な物には近寄らず警察や消防などに連絡して下さい。

日本に飛来する
可能性がなくなった場合

先程のミサイルは、我が国には飛来しないものとみられます。避難の呼びかけを解除します。

日本の領土・領海に落下する
可能性があると判明した場合

先程のミサイルは、迎撃により破壊されました。ミサイルの破片の落下の可能性があります。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。

日本の領土・領海内に
落下した場合

ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが●時●分頃、●●県市●●周辺に落下したものとみられます。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。

日本の領土・領海内に落下
する可能性がなくなった場合

先程のミサイルは、我が国には飛来しないものとみられます。避難の呼びかけを解除します。

【自宅待機・避難行動を継続】

追加情報

先程のミサイルの避難の呼びかけを解除します。不審な物には近寄らず警察や消防などに連絡して下さい。

※状況に応じたメッセージが送信されます。
※メッセージの内容は、状況に応じて変更される場合があります。

【避難解除・登校再開】

➤各家庭でJアラートの情報に基づき判断。

※登校再開後、一定時間が経過しても、登校が確認できない児童生徒がいた場合、当該の御家庭に連絡いたします。